

表 - 1 河川調査結果一覧表

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息	
			自然	水草自生	護岸固め	三面張	ダム	頭首 工								
1	備中川下流 (大出～垂水)	7,500	0	100 (7,500)	0	0	0	0	0	植林地で風倒木多、一部混交林	片岩類	水草茂るが淀みが多く、濁水・泡が目につき水質悪い	ハヤ・鯉・亀など	上・中流域に比べて水質劣り、濁り・泡が見られる	C	
2	備中川中流 (あざえ～大出)	6,000	0	100 (6,000)	0	0	0	0	0	混交林 植林に風倒木あり	片岩類 石灰岩	支川は三面張り多、本川は水草茂り水質良	ホタル・アユ・ハヤ・鯉・シギ・ヨシキリ、藻生育	魚の移動容易、清流で藻が生えアユが泳ぐ	B	
3	備中川上流 (あざえ以北)	9,000	54 (4,850)	44 (4,000)	0	2 (150)	1	0		自然林 混交林	石灰岩 片岩類 石英斑岩	自然および水草の茂る川で清水が流れ、浄化能力も高い	ハヤ・ホタル・亀など生息	北房ダムで移動は断たれる。自然環境・水質とも良好な川で、土砂流出少ない	B	
4	弥谷川	3,000	100 (3,000)	0	0	0	2	0		混交林 植林	片岩類	混交林と自然渓流で水質良好	転石・岩盤渓流でハヤ・山女がいろいろ	ダムで上下2分される、川は自然豊か	B	
5	西河内川	6,500	35 (2,300)	48 (3,100)	17 (1,100)	0	4	3		間伐林と雑木林で山は安定、中・下流は植林で風倒木多	片岩類	上流は清水、中流は水草が茂り水質良好、下流も水質良	ハヤ・トンボ・蝶などが多数生息、鯉生息	ダムで魚の移動は断たれる。土砂の流出は少なく、水質浄化能力大、比較的良環境の川である	B	×
6	日野上川	4,500	13 (600)	76 (3,400)	11 (500)	0	1	0		植林 50% 混交林 50% 植林に風倒木多	片岩類	やや濁った水であるが水草が生え、水は浄化され易い	ダムから上流は渓谷露岩で魚は棲みにくい。下流はハヤが生息	ダムから上流に魚は見られない。下流は水草が茂りハヤ生息	(B) ~C	×
7	竹谷川	2,000	0	100 (2,000)	0	0	3	0		植林地、 風倒木あり 土砂流出多	片岩類	上流は土砂流出多くダムは満砂、下流は水草茂り清水、水は少ない	頭首工の上下はハヤ生息、ダムより上流は生息不可	土砂の流出多く水は少ない。ダムより下流にハヤ生息	C	×
8	飯)余河内川	2,000	10 (200)	50 (1,000)	40 (800)	0	1	0		植林 60% 混交林 40%	片岩類	下流は枯れ沢、中流は水草茂るが水少ない。ダムより上流は自然谷	水少なく中流にハヤ少々、ダム湖に鯉・蛙	水が少なくハヤが少々生息するのみ	C ~D	×
9	関川	6,500	15 (1,000)	69 (4,500)	15 (1,000)	0	5	1		混交林広く 一部に植林地 風倒木あり	片岩類	植林、護岸工、ダムで水質はやや劣るが、下流域は水草が茂る	ダムで上・中・下流域に3分割される。下流域にハヤ多い、鯉生息、中流に渓流あり	ダムで川は分断され魚の移動は不可、中・上流に魚は少ない。下流は魚多い	(B) ~C	×
10	初摩谷川	2,000	65 (1,300)	0	0	35 (700)	1	4		植林地で風倒木と土砂流出多。尾根・山頂は混交林	片岩類 山頂に 山砂利層	泥水が流出し水草はなく、三面張りで水質は悪い	魚は生息できず	渓谷は土砂流出多、ダムから下流は全てコンクリートで水もなし	D	×
11	宮地川	3,000 +1,000	0	45 (1,800)	15 (600)	40 (1,600)	3	1		混交林	片岩類 石灰岩	上流と支谷は三面張りで流水なし、中流もなし、下流も一部枯渇	局部を除いて魚棲まず	石灰岩が分布し流水は少ない。天狗池直下はJHの土捨て場で宮地メイプル公園	D	×
12	飯)笹原川	1,000	0	0	30 (300)	70 (700)	0	0		混交林	片岩類	流水無く三面張り池は浄化能力なし	無	農地整備で全て人工河川となり自然は残っていない	D	×
13	興法地川	2,800	25 (700)	61 (1,700)	14 (400)	0	3	4		自然林 50% 混交林 50%	片岩類	碎石場の土砂流出多く河床高く流水少ない。上流は転石・礫主体、浄化能力小	下流にハヤ少々、水少なく生息環境は厳しい	土砂の流出多くダム・頭首工により魚の移動も困難、下流にハヤ少々	C ~D	×
14	飯)谷尻川	2,500	28 (700)	12 (300)	0	60 (1,500)	4	0		混交林	石灰岩	石灰岩が分布し水は少なく、三面張りに流水無し	無	上流域は4基のダムに堆砂し水は少なく魚はいない。人口度の高い川である	D	×
15	中津井川	6,000	8 (500)	49 (2,900)	43 (2,600)	0	0	1		混交林	石灰岩 片岩類	中流域は水草少なく護岸工著、下流域は水草茂る。浄化能力は低い	上・中流域は小魚少々、下流域はハヤ・ホタル生息	定規で測ったような川で変化が無く、魚は少ない。下流は水草多	B ~C	×

表 - 2 河川調査結果一覧表

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息
			自然	水草自 生	護岸固 め	三面張	ダ ム	頭首 工							
16	中津井川 支川	(7支 川) 5,350	0	13 (700)	31 (1,650)	56 (3,000)	1	7	混交林	石灰岩 片岩類	三面張りが56%を占め人口度 の高い川で、浄化能力は無い	生息しない	農地・住宅地はほとんどが三面張 り、自然の乏しい川である	D	×
17	河内川 (含西谷川)	14,000	21 (3,000)	75 (10,500)	4 (500)	0	4	3	同上 H10年災害で復旧工 事を実施	片岩類 泥岩(中・下 河内)	ヨシが茂り頭首工多いが、清流 である	西谷川に H15 年頃大山椒魚目撃、 h=2mの頭首工を昇れなくて困っ ていた	東西両谷は清流だがダム・頭首工で 魚の移動不可、中河内以下は魚に優 しくハヤ・鯉多し	B	
18	当摩川	5,500	13 (700)	0	64 (3,500)	24 (1,300)	3	2	植林地一部雑木林、風 倒木多 ゴルフ場あり	片岩類 花崗岩類 備北層群	植林地の土砂流出多、水草無 く濁水流れる	下流域にのみハヤ・ホタル生息、三 面張りに水中生物生息不可。	天津池から上流は人工改変著しく 魚はいない。神ノ毛から下流も水草少 なく魚は棲みにくい。	上流:D 下流:C	×
19	目木川下流 (富支所以南)	本流 のみ 15,500	29 (4,500)	71 (11,000)	0	0	0	1	植林 60% 混交林 40% 風倒木多	片岩類 一部泥岩・ 礫岩	自然流で瀬・瀬・淵あり、水草 の茂る清流である	カジカ・鮎・ホタル・山椒魚が住む	河川構造物少なく魚道あり、自然豊か で生物も多い	A	
20	目木川上流(富支所以 北)	含支 流 9,000	68 (6,100)	22 (2,000)	0	10 (900)	5	1	植林 80% 自然林 20%	片岩類 花崗岩 流紋岩類	自然状態の渓流、露岩・転石 主体	カジカ・山女・山椒魚がすむ、出合 ダムは移動不可	ダム5基以外は自然の流れ。正石谷 川は自然公園、重定川はダム+三面 張り工	A	
21	白賀川	6,000	85 (5,100)	15 (900)	0	0	1	0	植林 45% 自然林 55%	同上 流紋岩が多	渓流で露岩・転石多、水草は 少ない	ダムから下はハヤ、上は山女主体	自然状態の川、山女を放流し渓流釣り 場	AA	
22	余川下流 (大上より下流)	3,500	37 (1,300)	57 (2,000)	6 (200)	0	0	0	植林 60% 混交・自然林 40% 風倒木・崩壊多	片岩類	15年程前から土砂流出と濁水 傾向増加。露岩・礫川で水草 無く、浄化能力は低い	カジカ・鮎・山女 大山椒魚生息 清流である	風倒木と崩壊地多、 自然豊かな清流。 山椒魚親子生息	A ~B	
23	余川上流(大上より上 流) 立尾川	9,000	95 (8,500)	5 (500)	0	0	4	1	植林 60% 混交・自然林 40% 風倒木ナシ	片岩類 花崗岩	清流だが濁りがでやすい、岩・ 礫川で泥付着	ハヤ・ウグイ・山女など 魚影はうすいが 大山椒魚もいよう	植林が多く水は濁り易い 魚は少なくなった 山女は放流時のみ住む	A	
24	皆畑川	2,500	40 (1,000)	40 (1,000)	20 (500)	0	0	0	植林 50%崩壊多 混交林 50%	片岩類	護岸と露岩で水草無く、災害 の土砂流出多、やや濁った水 である	ハヤ・山女少々、魚は少ない	護岸・露岩で占められ、泥・汚水が流 れ生物は少ない。崩壊地多	B	
25	山生川	3,000	47 (1,400)	33 (1,000)	10 (300)	10 (300)	1	0	植林 50%、 混交・自然林 50% 風倒木の崩壊甚大	片岩類 花崗岩	植林の風倒木と崩壊が極めて 多く、濁水が流れ、堆砂傾向に ある	山椒魚の生息地なるも斜面崩壊で 生息場所半減か。魚の生息環境は 良くない	護岸・岩盤で水草無し、斜面崩壊で河 床状況変化し、魚・山椒魚は減った可 能性大	B	
26	兼秀川	5,000	90 (4,500)	10 (500)	0	0	2	0	植林、混交林 自然林 崩壊あり	片岩類 花崗岩 石英斑岩	災害後、砂泥の流出が増し、 泥付着。露岩・礫川で水草無 く、浄化能力は低い	瀬・渓流で魚影はうすい 山椒魚は生息していよう	ダム2基のほかは自然渓流で水草少 ない、清流だが土砂も流出し易い	A	
27	三坂川	6,000	25 (1,500)	8 (500)	67 (4,000)	0	1	2	植林 95% 風倒木地の崩壊多	片岩類 一部泥岩・ 礫岩	水草少なく、土砂流出多く、浄 化能力低い	水少なく、ハヤ少々	植林と災害で土砂流出多く、護岸は固 められ、生物生息環境は劣る	C	×
28	旭川下流 (落合～湯原ダム)	31,000	0	100 (3,100)	0	0	2	0	植林・混交林。 植林の風倒木多く、一部 は崩壊する	片岩類 花崗岩	土砂流出し易く、石に泥付着 す。一部に泡あり。浄化能力は 低い	ハヤ・ウグイ・鮎・鯉・フナ・ヒラメ・カジ カ・山椒魚など。魚影は薄い	植林による山地荒廃と水質劣化によ り、魚種減少の声を聞く。護岸工事 により単調な流れとなる。鮎も減った	B	
29	福谷川	2,500	0	48 (1,200)	12 (300)	40 (1,000)	1	0	植林 50% 混交林 50% 風倒木の崩壊あり	片岩類	護岸と三面張りで固められ、崩 壊による土砂が流出する	ハヤ生息	下流に崩壊多、 植林多く土砂流出し易い。 護岸工事でハヤのみ生息	C	×
30	本郷川	3,000	0	43 (1,300)	57 (1,700)	0	1	0	同上 上流に自然林あり 風倒木の崩壊多発	片岩類	護岸で固められ、水草少なく、 浄化能力は低い	ハヤ少々のみ	河川改修と植林、斜面崩壊により 河川環境は劣る	C	×

表 - 3 河川調査結果一覧表

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息
			自然	水草自生	護岸固め	三面張	ダム	頭首 工							
31	神庭川	6,000	58 (3,500)	42 (2,500)	0	0	(滝) 1	0	植林 10%混交林 60% 自然林 30% 崩壊少々	片岩類 花崗岩	植林地は少なく清水が流れる、岩・礫 川で水草は少ない	大山椒魚生息	地形急峻で人家少なく 未開発地のため自然が残る	A	
32	釘貫川	2,500	20 (500)	40 (1,000)	16 (400)	24 (600)	0	0	植林 65%、混交・自然林 35%風倒木あり、HW 通 過	片岩類 花崗岩	清水なるも護岸工が進み、浄化能力 は低い	魚はほとんどいない 上流に小魚がいるかも知れない	米子道の工事で川に魚を見ず、上流に山 椒魚のいる可能性は小さい	D	×
33	社川	2,500	0	52 (1,300)	0	48 (1,200)	0	多数	自然・混交林 50% 山裾は植林 50%	花崗岩	中・下流域は三面張り、護岸工が進 み、浄化能力は低い	生息場所が無く魚はいない	源流は未確認、中・下流に生息場所無し、 魚の移動も不可	D	×
34	鉄山川下 流(見明戸 以下)	7,000	21 (1,500)	79 (5,500)	0	0	0	1	植林 70% 混交・自然林 30% 崩壊わずか	花崗岩	礫川、一部露岩、清水流れるが土砂 流出し易い。	カジカ・鮎・ヒラメ・山椒魚の生息が予 想される	護岸整備され、礫川で瀬として流れる、清 流であるが、魚の生息環境は巾が狭い	B	
35	鉄山川上 流(見明戸 以上)	7,000	50 (3,500)	50 (3,500)	0	0	7	3	植林 70% 混交・自然林 30% 崩壊わずか	花崗岩 一部片岩類	渓流多く清水流れる。降雨時土砂流 出し易い	自然豊かで同上の生物がいよう。 昔に比べて魚・山椒魚が減った	源流域にダム6ヶ、独活原に1ヶ、自然豊か な清流である	A	
36	羽部川	2,500	8 (200)	28 (700)	32 (800)	32 (800)	1	多数	植林 80% 自然林 20% 土砂流出多	花崗岩	急流河川で床固め・段差工著しく浄化 能力は低い	生息場所が無く魚はいない	護岸・床固めにより魚の生息・移動は不可 能、土砂の流出多い	D	×
37	福井川	1,900	58 (1,100)	16 (300)	0	26 (500)	1	多数	植林 70% 混交林 30% 土砂流出多	花崗岩	上流は自然の谷であるがマサ土が多 い、下流は三面張りで浄化能力は無い	下流は三面張りで魚はいない 上流は小川で魚影見られず	上下流とも魚の生息場所無く、移動も不可 能	D	×
38	黒田川	2,500	0	100 (2,500)	0	0	0	0	植林 30% 混交林 70%	花崗岩	マサ山のため砂泥が流出し、濁り易 い、浄化能力は普通	水草が自生し魚はいよう	構造物少なく、昔の川の姿を留める。魚は 普通程度 山椒魚も期待できる	B	
39	田羽根川	4,500	22 (1,000)	67 (3,000)	11 (500)	0	1	0	植林 25% 混交林 25% 自然林 50%	花崗岩 一部片岩類	護岸整備されるが礫川で清流。浄化 能力は普通	魚影はうすい、 山椒魚の生息は期待薄	清流だが河川整備により、魚・山椒魚の住 処は少なそうである	B	
40	白根川	1,500	47 (700)	53 (800)	0	0	3	1	混交林 50% 自然林 50% 崩壊1ヶ所	花崗岩 一部片岩類	岩・礫渓谷で清流。浄化能力は普通	構造物で分断され魚の住処は少な い、魚影を見ず	構造物で魚は移動できず、山椒魚も期待 薄である	C	×
41	下和川下 流(津黒以 下)	5,000	30 (1,500)	70 (3,500)	0	0	0	0	植林・混交林 40% 自然林 60%	花崗岩 一部片岩類	山は渓谷で清流、平地は水田で礫川	渓谷に山椒魚生息の可能性あり、平 地はハヤ・ウグイなど	山は自然渓流、平地は護岸工で川の流れ は単調、魚の住処は少ない	B	
42	下和川上 流(津黒以 上)	5,000	0	0	26 (1,300)	74 (3,700)	0	1	自然林 50% 混交林 50%	黒ボク ローム 花崗岩	黒ボクのためやや濁った清水、支川は 全て三面張り、浄化能力は無い	ハヤ少々、三面張りで魚はいない	区画整備した農地が広がる、水系は全て三 面張り・U字溝で魚はいない	D	×
43	植杉川 山乗川	5,000 2,500	60 80	40 20	0	0	0 1	0	植林 50%(上流域) 自然林 50%	花崗岩 一部片岩類	自然の清流であるが、上流域は植林 で土砂が流出し易い	ヒラメ・山椒魚の生息が予想される	植杉川に障害物ナシ、山乗川はダムと滝が 各1ヶ所あり、自然豊かな渓流である	A	
44	粟谷川	9,500	68 (6,500)	32 (3,000)	0	0	1	0	混交林 45% 自然林 45% 植林 10%、崩壊ナシ	花崗岩 一部片岩類	岩・礫川で水草は少ないが清流である	S56 年災までは大山椒魚・魚も多かつ た。復旧工事後、激減し今はあまり見 ない	復旧工事後水草と住処および餌が減り魚も 減った。魚はサギが食べてしまう	A	
45	粟谷川支 川 種水系	3,000	0	90 (2,700)	0	10 (300)	0	1	自然・混交・植林同率 風倒木の崩壊2ヶ所	ローム 花崗岩	礫川で水草茂り清水が流れる	ハヤ少々、住処は無く、山椒魚は居な いであろう	区画整備した農地が広がる、川に魚の住処 はほとんど無い	C	×

表 - 4 河川調査結果一覧表

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息
			自然	水草自生	護岸固め	三面張	ダム	頭首工							
46	柳谷川 小茅川 大杉川	3本で 6,000	43 (2,600)	57 (3,400)	0	0	1	2	混交林 60% 自然・植林各 20% 災害ナシ、牧畜あり	花崗岩	柳谷川は牧畜汚水で魚がいなくなっ た。現在3川とも清流である	ヒラメ・小魚がいるが山椒魚は2~3年 前から見ない、魚の数も非常に少なくな った	S56年災害前は山椒魚も多数いたが、2~3 年前から姿を見ない。魚も減ったとのこと	B	
47	山田川 藤森川	2本で 7,500	9 (700)	17 (1,300)	12 (900)	61 (4,600)	0	20	混交林 50%、植林 20%、 自然林 30% 崩壊5ヶ所	花崗岩 片岩類	山林と荒地が多く清流が流れるが、川 は三面張りで浄化能力は低い	下流域にハヤ少々 他には魚はいない	S56年災害の復旧工事と区画整備で、魚も 山椒魚も住めない川となった	D	×
48	深谷川	2,500	100 (2,500)	0	0	0	0	1	植林 混交林 災害ナシ	花崗岩	岩・礫分布の自然川で清流である	大山椒魚・ヒラメ・赤モツ・ホタル生息、 ウナギ・ドジョウはいなくなった	自然渓流で山椒魚はかろうじているが、植 林が広がり魚とその餌は少なそうである	A ~(B)	
49	旭川上流 (湯原ダ ム以上)	18,000	28 (5,000)	72 (13,000)	0	0	0	0	自然林 40% 混交・植林 30% 草地・田畑 30%	片岩類 花崗岩	ほぼ清流	アユ・ヒラメ・カジカ・ホタル・ハヤ・大山 椒魚など、 ウナギはいない	川幅は広く、自然に近い状態の流れで水 質も良い。下長田から下流は自然流	A	
50	旭川源流 (延助以 上流)	含支流 10,000	60 (6,000)	40 (4,000)	0	0	0	2	自然林 40% 混交・植林 30% 草地・田畑 30%	同上	牧畜の汚水と米子道の凍結防止剤が 流入。季節により水質劣化、平時は清 水	HWより下流はヒラメの稚魚は死滅、上 流は生育する。川は草が茂り、虫・餌 が少ないであろう	牧畜とHWにより川の負担大、魚少なく、山 椒魚の生息する可能性小さい	B	
51	山城川	2,000	0	25 (500)	0	75 (1,500)	1	多	自然林 80% 混交林 20% 災害ナシ	花崗岩	清流であるが、川は三面張りで浄化能 力は低い	魚はいない	S56年災害の復旧工事と区画整備で三面 張り河川となり、魚も山椒魚もいなくなった。 昔は多数いた	D	×
52	高松川 戸谷川 宮城川	3本で 9,100	25 (2,300)	21 (1,900)	32 (2,900)	22 (2,000)	1	8	自然林、牧草地、田畑、 一部採土場	火山噴出砂 礫、ローム、 黒ボク	清流だが、雨時牛の尿尿・排水が流入 する、川の浄化能力は低い	下流の一部にハヤ、その他に魚は見 られない 農地は三面張り水路	護岸と三面張りで固められ、畜産汚水が流 出し、魚はほとんどいない、上流は小谷で 魚みず	D ~(C)	×
53	飯)道目 木川	2支川 で 4,500	16 (700)	71 (3,200)	0	13 (600)	0	1box 2	自然林、牧草地、 田畑、	同上	清水でヨシが茂り浄化能力は高い、雨 時牛舎・牧草地から汚水が流出する	大山椒魚・ウナギが多くいたが今は全 くない。牧畜と農薬の流出で魚もい なくなった	護岸で固められ住処が無く魚はいない、上 流は夏枯れ沢となる。雨時、汚水流入する	C ~D	×
54	三谷川	2支川 で 5,000	80 (4,000)	20 (1,000)	0	0	4	5	自然林、中流牧草地下 流田畑、川沿い荒地・雑 木多	同上	清流で川の浄化能力は高い、下流部 に産業排水あり	下流はダム・堰多く魚を見ない、 上流に大山椒魚生息する	中・上流域は自然流で大山椒魚生息、ダム の上流は枯れ沢となる。下流は構造物多く C級川	上流A 下流C	
55	井川	5,000	46 (2,300)	54 (2,700)	0	0	5	2	同上	同上	清流で川の浄化能力は高い、牛舎・牧 草地あり、汚水が流入する	塩釜にヒラメ養殖場、これより上流に大 山椒魚が生息しよう。 下流は小魚少々のみ	塩釜より上流は自然のV字渓谷、下流は護 岸・ダムで固められる。上流に大山椒魚生 息しよう	上流A 下流C	
56	中谷川	3,000	77 (2,300)	23 (700)	0	0	0	1	同上	同上	清流で川沿いはヨシが茂り浄化能力 は高い、牧畜多く尿尿・排水が流入す る	川はヨシ・雑草が茂り、日当り悪く虫が 育たず魚は少ないが、山椒魚の生息 する可能性あり	川沿いは荒地が多く、ヨシ・雑草茂る。自然 に帰りつつある川と言える	A	
57	玉田川	3,000	43 (1,300)	57 (1,700)	0	0	1	1	同上	同上	同上	川に虫は少なく魚も少ない、牧草地で 囲まれ、山椒魚のいる可能性は小さい	牧草地を源流とする川で、汚水の流出とダ ム・護岸により、魚の生息環境は劣る	B	
58	湯船川	6,500	46 (3,000)	54 (3,500)	0	0	1	1	同上	同上	自然林主体で川はヨシが茂り清流であ る、牧草地は中・下流の一部である	自然川で第二湯船から上流は大山椒 魚が生息しよう、下流側も大山椒魚の いる可能性あり	上流は自然状態、下流域は護岸はあるが 川幅広く、ヨシが茂り自然に近い流れ。人の 立入は大変である	上流A 下流B	
59	明連川	8,000	60 (4,800)	40 (3,200)	0	0	2	1	上流自然林、一部植林、 下流草地・畑 風倒木あり	同上	清流でヨシが茂る、汚水流入はほとん ど無い	下流域はハヤ、中・上流域はヒラメ多。 自然豊かで大山椒魚も生息しよう	自然豊かな流れで大山椒魚も生息していよ う	上流A 下流B	
60	苗代川	含支川 7,500	63 (4,700)	37 (2,800)	0	0	0	2	自然林 70% 植林 20%、田畑 10% 風倒木あり	同上	自然林主体で川はヨシが茂り清流であ るが、苗代に牛が多く汚水が流入する	川は日当り悪く虫・魚は少ない。上流 に山椒魚の生息する可能性あり	川沿いは荒地多く、草が茂り自然に帰りつ つある。餌が少ないが山椒魚の生息も期待 される	上流A 下流B	

表 - 5 河川調査結果一覧表

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息
			自然	水草自生	護岸固め	三面張	ダム	頭首工							
61	宿波川	3,000	50 (1,500)	50 (1,500)	0	0	0	0	自然林 80% 植林 20%	火山噴出砂 礫、ローム、 黒ボク	川沿いは全て荒地となり、ヨシが茂り清流である	ヨシが茂り日当たり悪いがハヤ・ヒラメが泳ぐ。山椒魚の生息も期待される	川沿いの耕地は全て荒地。上流は自然流、下流は護岸があるが自然に帰りつつある	上流A 下流B	
62	天谷川	4,500	56 (2,500)	44 (2,000)	0	0	1	0	自然林 80% 植林 10% 混交林 10%	火山噴出砂 礫、ローム、 黒ボク	清流である	谷はヒラメがあり、山椒魚も期待される。平地は護岸で小魚少々のみ	谷は全て荒地で自然流、山椒魚も生息している。平地は護岸 + ヨシで小魚のみ	上流A 下流B	
63	内海谷川	4,000	63 (2,500)	37 (1,500)	0	0	0	0	自然林 70% 植林 30%	火山噴出砂 礫、ローム、 黒ボク	川沿いは全て荒地で、ヨシが茂り清流である	ヒラメ多く、山椒魚も生息しているよう	人家・農地無く、自然の流れ。凍結防止剤の散布少なく、ヒラメの稚魚も生育すること	A	
64	粟住川	含支流 5,200	0	0	23 (1,200)	77 (4,000)	0	3	自然林 30% 混交林 40% 植林 30%	同上 +片岩類	牧畜と畑が多く、やや濁った水で泡立っている。三面張りで浄化能力なし	魚住まず	三面張りで一部護岸工。畜産の汚水が入り、水質悪い	D	×
65	田部川	3,500	8 (300)	86 (3,000)	0	6 (200)	0	2	自然林 40% 混交・植林 50% 草地・田畑 10%	同上 +片岩類	山林・草地で清流である	護岸で挟まれ、住処は無く、魚は少ない	人家が開け魚の住みにくい川である。山椒魚のいる可能性はごく小さい	B	
	合計	372km	34% 127km	50% 186km	8% 28km	8% 31km	87	多数							

表 - 6 河川調査結果一覧表(新庄川流域)

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息
			自然	水草自生	護岸固め	三面張	ダム	頭首工							
66	新庄川下 流域(勝山 ~美甘支 所)	20,000	93 (18500)	7 (1,500)	0	0	0	0	自然林 20% 混交林 10% 植林 70% 右岸 に崩壊地点在	片岩類 花崗 岩類	集落・耕地が少なく山林主体の 清流。溪谷が多く自然の流れ を保っている。	アユ・ヒラメ・ドジョウ・大山椒魚が 生息。魚の種類と数はすっかり減 ったとのこと。	川の姿はS30年代と変わらないが植林地が 多く泥が流出し藻の活着が悪い。水量も減 ったとのこと。	A	
67	谷山川 大久奈川	合計 2,400	50 (1,200)	17 (400)	0	33 (800)	4	2	自然林 5% 植林 9 5% 風倒木・崩壊地 多く土砂流出多	片岩類	全て植林地で倒木と土砂流出 多く生物相は貧弱。砂防ダム 有り魚の移動不可能	小魚が少しいるのみ、水中生物は 貧弱	ダムから上流は自然谷であるが、水は少な く魚はほとんど住めない。	C~D	×
68	大平川 重則川	合計 2,400	64 (2,100)	21 (700)	0	15 (500)	滝2	2	自然林 15% 混交林 5% 植林 80% 大平川 は崩壊地多い。	片岩類	上流は自然流であるが崩壊・ 土砂流出多。中流域は滝と三 面張り工で魚の移動不可能。	ドロバエとカニが少々いるのみ。 昔はウナギ・ヒラメ・大山椒魚もい たとのこと。	植林地で餌も住処も無く魚はいない。大平 川は崩壊地が多い。	C	×
69	支富田支 川 大倉川	4,400	95 (4,200)	0	0	5 (200)	0	2	自然林 50% 植林 50% 採石場から土砂 流出多。	片岩類	自然流であるが植林地は土砂 が流れ易く、谷に藻が生えてい ない。自然林は清流。	自然谷で人手が入らずヒラメ・大 山椒魚のいる可能性大。	採石場は土砂流出多。植林地は生物相貧 弱。	B	
70	高山川	4,000	100 (4,000)	0	0	0	1	1	自然林 5% 植林 9 5% 一部の地区に崩 壊地多。	片岩類	自然流であるが全て植林地で 流木・土砂流出が多く生物相 は貧弱	ヒラメ・ハヤ・アブラハヤが少々い る。大山椒魚の生息する可能性 はある。	自然流であるが植林地のため生物相は貧 弱、魚は少ないが大山椒魚の生き残ってい る可能性あり。	B	
71	湯谷川 打火谷川	合計 3,300	100 (3,300)	0	0	0	2	-	自然林 20% (山頂・ 尾根部) 植林 80%	片岩類	自然流であるが流域は植林の ため土砂流出が多い。	中流域に砂防ダム有り、魚の移動 不可能。ヒラメ・ハヤ・カニがいる	地元民が自然の川を守っているが大山椒 魚は近年見ないとのこと。	B	
71	首切川 黒畑川	合計 2,400	100 (2,400)	0	0	0	2	-	自然林 20% 植林 80%	片岩類	自然谷および耕作地の荒地で 自然に帰りつつある。	小谷でダムが有り魚はほとんどい ない	小魚がいる程度。自然に回帰しつつある。	B	×
72	新庄川上 流域(美甘 支所~不 動滝)	11,300	11 (1,200)	89 (10100)	0	0	0	1	自然林 35% 混交林 10% 植林 55% 川沿 いは植林地	花崗岩類 片岩類	護岸工が続くが川原に草が生 え、自然に近い流れを保ち、魚 にやさしい清流である。	アユ・ヒラメ・ドジョウ・ジャコ・大山 椒魚が生息する。魚の種類と数は 減ったとのこと。	植林により川の石に黒泥が付着している。 川の水量・水草や虫が減少し、魚の餌が減 ったとのこと。	B	
73	飯)田浪川 二ツ橋川	6,300	36 (2,300)	48 (3,000)	0	16 (1,000)	2	不動滝 1	自然林 60% 混交林 20% 植林 20% 毛無 山ブナ林実生杉あり	花崗岩類	護岸工はヨシが茂り清流で ある。二ツ橋に三面張り工有り。	ヒラメ養殖場有り。ヒラメ・大山椒 魚・タゴガエル生息。	自然林が多く、ブナ林と実生杉が生え清流 である。天然ヒラメは少ないとのこと。	A~B	
74	土用川	3,500	100 (3,500)	0	0	0	2	0	自然林 60% 混交林 15% 植林 25% 毛無 山ブナ林実生杉あり	花崗岩類	自然林と自然谷で清流である。	自生ヒラメと大山椒魚が生息して いよう。	自然林と自然の流れがよく残っているが植 林もある。土用ダムからの放流は無い。	A	
75	森谷川 河 田川 平島川	2,400 2,500	57 (2,800)	6 (300)	8 (400)	29 (1,400)	1	15	自然林 30% (源流 域) 植林 80%	花崗岩類	上流域は自然谷だが水は少な い。中下流は人手が過大に入 り自然は無い。	三面張り・頭首工により魚の住処 は無い。上流は土砂流出多	人手が加わり魚の住めるところは無い	C~D	×
76	山路川	1,900 2,400	56 (2,400)	33 (1,400)	11 (500)	0	2	10	自然林 40% 植林 60%	花崗岩類片岩 類	流域に自然林が残り清流であ る。下流域は護岸工と頭首工 が多く魚はいない。	ヒラメが泳ぎ、大山椒魚のいる可 能性あり。	中・上流域は自然を残した川で魚にやさし い。河田川は石と丸太で床止めをしてい る。	B	
77	茅見川	4,300	58 (2,500)	42 (1,800)	0	0	2	3	自然林 40% 植林 60%	花崗岩類片岩 類	上半分は自然流、下半分は古 い石積みと露岩で昔の川の姿 をよく残すが植林地が多い。	自生ヒラメと大山椒魚がいる。	ダム・頭首工で川は3分断される。水量は 減り、大山椒魚も少なくなった。	A~B	
78	戸島川 野呂川	4,200 1,600	60 (3,500)	31 (1,800)	0	9 (500)	3	1	自然林 30% 混交林 10% 植林 60%	花崗岩類安山 岩類	自然と魚に配慮した構造物で 昔の流れをよく保つ。自然豊か な流れであるが植林も多い。	ヒラメ・大山椒魚も生息していよう。	昔の石積み護岸と、環境重視型の頭首工 で魚にやさしい川である。	A~B	
79	浦手川	4,200	36 (1,500)	0	64 (2,700)	0	3	7	自然林 60% 混交林 10% 植林 30%	花崗岩類	自然林が多く清流であるが、 中・下流は護岸工+段差工で固 められている。	時にヒラメがあり、上流に大山椒 魚のいる可能性があるが、ダムで 分断されている。	圃場整備と護岸工、砂防ダムにより改変さ れた川である。	C	

表 - 7 河川調査結果一覧表(新庄川・月田川流域)

番号	河川名	延長 (m)	河道状況 % (m)				障害物		集水域の植生 ・災害他	地質	水質および川の浄化能力	水中生物	コメント	魚の 生息環境 評価	山椒 魚の 生息
			自然	水草自生	護岸固め	三面張	ダム	頭首工							
80	野土路川	9,700	76 (7,400)	24 (2,300)	0	0	3	五段滝 4	花崗岩類片 岩類	昔の石積み護岸又は自然流で清流である。長谷倉川に牛舎有り、糞尿が流入する。	アユ・ヒラメ・ジャコ・シマドジョウが泳ぎ、大山椒魚もいよう。	変化に富んだ自然豊かな流れである。大部分は自然の流れを保ち、自然林もよく残っている。	A		
81	高下川	3,000	73 (2,200)	27 (800)	0	0	0	2	花崗岩類	昔の石積み護岸で自然がよく残り中・上流は自然状態の川。植林地で苔・藻の活着は悪い。	自生ヒラメ・大山椒魚も生息しよう。魚の種類と数は減ったとのこと。	自然のよく残った川であるが植林地のため石は黒く、藻の生育は悪い。水量・魚影ともに減った。	B		
82	月田川下流域 (下田～ 富原駅間)	9,500	11 (1,100)	89(8,400)	0	0	0	2	片岩類	混交林 10% 植林 90% 風倒木・崩壊地 所々あり	旧石積み護岸と自然流からなり、川の流れは自然で変化に富んだ清流である。	稚アユ多し。ハヤ・ウグイ・ジャコ・ドジョウ他魚種も多。大山椒魚も生息する。	流域はほとんど植林地。川は山に挟まれた渓流で変化に富んだ流れである。	B	
83	飯)手谷川 和田川	1,500 1,800	9 (300)	18 (600)	42 (1,400)	30 (1,000)	2	14	片岩類	混交林 20% 植林 80% ほとんどが植林地	ほとんどが植林地で人手の加わった人工川主体である。小川で水は少ない。	ハヤが少しいるのみ。魚の住処は無い。	護岸工・三面張り工・頭首工で固められ、魚はほとんど住めない。	C~D	x
84	後谷川	7,600	35 (2,700)	57(4,300)	0	8 (600)	1	7	片岩類 花崗岩類	混交林 15% 植林 85% 下流域に風倒 木・崩壊地あり	旧石積護岸又は自然流で S30 年頃の姿をよく残すが山は植林地でやや濁り水である。	中流のダムより上はドロバエがいるのみだが大山椒魚を放流した。下流に魚は少ない。	ダムと頭首工で川は細かく分断される。植林地で泥が流出し魚は少ない。	B~C	
85	岩井谷川	9,200	58 (5,300)	36(3,300)	0	6 (600)	1	5	片岩類	自然林 10% 混交林 50% 植林 40% 混交 林多、崩壊 1ヶ所	旧石積護岸と自然流主体であるが、石に泥が付着し藻の生育は少ない。	自生ヒラメ・ハヤ・カニ生息。70cm 大の大山椒魚が居るとのこと。魚の住処は多い。	自然の残った川であるが、上流域は植林地で泥が流出し易く、ハヤが居る程度。	B	
86	月田川上流域 (富原駅から 上流)	9,200	70 (6,500)	26(2,400)	2 (200)	1 (100)	1	6	片岩類 花崗岩類	自然林 5% 植林 95% 風倒木・崩壊地所々 あり	旧石積み護岸と自然流からなる自然豊かな流れである。源流部は土砂流出多。	稚アユ・地ヒラメ・ハヤ・ジャコ・カニ・大山椒魚が生息する。魚種・魚影は減った。	アユ・ヒラメはいるが数が減少し、今は釣人もなくなったとのこと。	B	
87	神谷川 長谷川	1,700 1,800	48 (1,700)	23 (800)	29 (1,000)	0	0	4	片岩類	混交林 10% 植林 90% 一部に風倒木と 崩壊地あり	中・下流域はブロック積み・石積み護岸で上流のみ自然流。泥が流出し易く牛糞も捨てる。	ハヤ・サワガニが少し居るのみ。昔はウナギ・ズガニが多くいた。	植林地と護岸工で魚の住みにくい川となっている。	C	x
88	飯)野川	3,500	57 (2,000)	23 (800)	0	20 (700)	1	0	片岩類 花崗岩類	混交林 40% 植林 60% 崩壊地 1ヶ所	中流域は護岸工又は三面張り工、下流域は自然流。中・下流域は全て植林。	ダムより上の中・上流はハヤのみ。下流にはヒラメ・大山椒魚の生息が期待される。	ダムから上流は花崗岩で土砂流出多くハヤがいるのみ。下流も魚は少ないであろう。	B~C	
89	首尾川 井田川	5,200 4,300	70 (6,700)	30(2,800)	0	0	2	7	片岩類 花崗岩類	自然林 30% 植林 70% 山頂付近は自然 林、崩壊 1ヶ所	一部に護岸工があるが自然流のところが多く、自然状態をよく留めた川である。	地ヒラメ・ハヤ・大山椒魚がいる。昔はウナギ・ズガニも多くいたが今はいない。	植林地で泥が流出し易い。砂防ダム・頭首工で魚の移動は分断される。	B	
90	飯)清谷東川	2,000	100 (2,000)	0	0	0	0	0	片岩類	植林 100% 風倒木・崩壊地多し	自然流であるが崩壊地が多く土砂流出多。石に泥が付着する。	清流であるが餌が無く、ハエ・ドロバエが少々いるのみ。	流域は全て植林地で、水生生物相は貧弱である。	B	x
	新庄川水系	154,4km	60 93,3km	31 4 7,5km	4 6,2 km	5 7,4km	37	多数							
	総計	526km	42 220km	44 233 km	6 3 4km	7 38km	124	—							